謝辞

本稿は滋賀県立大学環境科学部環境計画学科環境社会計画専攻における研究成果を学位論文としてまとめたものです。

本研究を進めるにあたり、近藤隆二郎助教授には親切丁寧なご指導を頂きました。精神面の弱さから、何かと逃げ場所を作り、研究と向き合おうとしなかった私を見放すことなく温かく見守って下さいました。中でもヒアリング調査で右も左も分からない土地で一週間滞在している私に励ましのメールを頂いた事を、私は一生忘れません。そして、何より、研究に真剣に取り組み、自分が抱いた疑問を自分の力で解決していく厳しさ、そして楽しさを教えていただきました。本当にありがとうございました。

本論文を査読して下さいました錦澤滋雄講師には、本論文を修正する上で、的確なアドバイスを頂きました。心から御礼申し上げます。

お忙しい中、ヒアリング調査、及びアンケート調査にご協力下さった墨田区役所産業経済課の秋元晃一さん、「小さな博物館」の館長さん、調査の手助けをして下さった「小さな博物館」の関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。常識をわきまえない私の訪問や質問に丁寧に対応して下さいました上に、研究のためだけでなく、人生においてためになる貴重なお話を聞かせていただきました。本当にありがとうございました。

研究室の大学院生には大変お世話になりました。樋口幸永さんとは、友の会（私の母）の話題や研究室内の些細なことで盛り上がり、いつも楽しい研究室の雰囲気を作って下さいました。村上浩継さんは、就職活動と研究の両立の時期に励ましの言葉をかけて下さいました。杉本さやかさんには、隣同士の席でたわいもない話をしながら、研究に対する真剣なアドバイスをたくさん頂きました。そして、私の家庭教師役まで引き受けて下さった近藤紀章さんには、研究室に配属されたときから論文提出の直前まで、研究について共に悩み、本音で議論しあい、研究に真剣に向き合わせて頂きました。私にとって、大学院生四名の存在がとても大きく、特に私の学年は人数も少なかったためか、先輩後輩の関係というより、一緒にご飯を食べ、酒を飲み、時間を忘れて話をする『仲間』だと勝手思っていました。本当にありがとうございました。そして、一年間共に研究を進めてきた小田憲治君、折野佳美さん、迫間勇人さんに感謝します。自分のことで精一杯でなかなかお互いに研究について相談しあうことはできなかったけど、同じ部屋で研究に取り組む中で、いろいろな刺激をもらうことができました。本当にありがとう。

この一年間を近藤研究室の一員として過ごせたことを心から幸せに思います。

また、この一年間活動を共にした近江中山道を楽しむ会とC3のメンバーの皆様には感謝いたします。研究を進める上で、忘れてはならない『現場』を、皆様と交流する中で知ることができました。

最後に、研究も含め、いろいろな壁にぶち当たる度に、私のことを一番に心配し、遠い香川から応援し続けてくれた両親と弟に心から感謝します。

平成 18 年 2 月 20 日 西村 洋子